

専門分野Ⅱ 成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	成人看護Ⅵ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	渡邊美佐子・朝日恵美・黒川みゆき	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>成人看護学では、成人期の特徴を踏まえ成人期の健康障害を持つ対象のおかれた状況（経過）に応じた看護が展開できる能力を養うことを目標としている。</p> <p>成人看護Ⅵでは、終末期看護について学ぶ。緩和ケアの目的は症状の緩和と患者の視点からみたQOLの改善である。患者の価値観やおかれている状況によって目標は異なり、その患者に最も適切なケアを提供することが求められている。本授業において、終末期にある対象の特徴を理解し、この時期に必要な看護について学ぶ。また、実践に向けて「身体防御機能障害」のある対象への看護についても学んでいく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	エクササイズを通して死ぬ・死を意識することで生について考える	講義（渡邊） 緩和ケア認定看護師	
2回目	終末期にある人の捉え方（死の受容過程） 全人的苦痛の理解 チームアプローチの必要性	講義（渡邊）	
3回目	症状メカニズムとそのマネジメント	講義（渡邊）	
4回目	援助的コミュニケーション スピリチュアルペインのケア	講義（渡邊）	
5回目	穏やかな看取りを支えるために～看取りまでの経過とケア～ （悲嘆） アドバンスケアプランニングについて エンゼルケアの実際	講義（渡邊）	
6回目	化学療法を受ける患者の看護	講義（朝日） 化学療法看護認定看護師	
7回目	放射線療法を受ける患者の看護	講義（黒川）	
8回目	身体防御機能障害のある患者の看護①構造と機能・疾患	グループワーク（黒川）	
9回目	身体防御機能障害のある患者の看護②	グループワーク（黒川）	
10回目	身体防御機能障害のある患者の看護③	グループワーク（黒川）	
11回目	身体防御機能障害のある患者の看護④	グループワーク（黒川）	
12回目	問題にチャレンジ	グループワーク（黒川）	
13回目	事例で考えてみよう	講義・グループワーク（黒川）	
14回目	まとめ	講義・グループワーク（黒川）	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%（黒川 50% 渡邊 40% 朝日 10%）		
受講生に対するメッセージ	成人看護Ⅵは、3年次の成人看護学実習Ⅲにつながる授業である。学んだことを実習で活用できることを目指していくため、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	成人看護学 緩和・ターミナル看護論 ニューヴェルヒロカワ 成人看護学 慢性期看護論 ニューヴェルヒロカワ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④ 医学書院		
参考書	病気がみえる 血液 メディックメディア フラピエかおり著 看護学生のための重要疾患ドリル メヂカルフレンド社		